Two Perspectives: Sato Daishi & Isobe Akiko

2026.9.19.SAT ▶ 12.6.SUN

■開館時間／9:00-17:00（入場は16:30まで）■休館日／月曜日（休日の場合は翌平日）

■主催　松本市美術館、TSBテレビ信州　■技術協力　セイコーエプソン株式会社
■後援　信濃毎日新聞社、読売新聞長野支局、市民タイムス、MGプレス

※本展示は、松本市とセイコーエプソン株式会社の包括連携協定に基づく取り組みのひとつです

ミックス紙 FSC® C009296
VEGETABLE OIL INK

松本市美術館
MATSUMOTO CITY MUSEUM OF ART

SustainableWorld

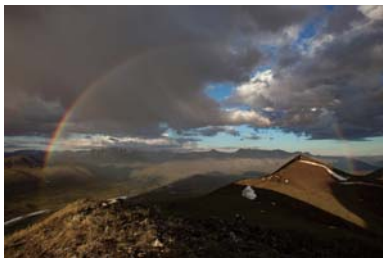
Two Perspectives: Sato Daishi & Isobe Akiko

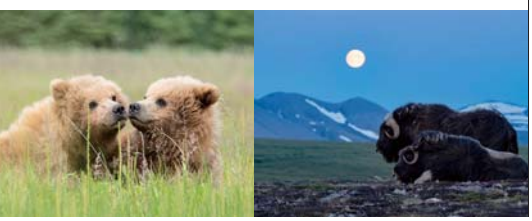
私たちはいま、生きることの輪郭をあらためて見つめ直す時代にいます。
環境の変化や価値観の揺らぎ、文化を受け継ぐことの難しさ、そして日々の営みの中にある小さな選択。そうしたひとつひとつが、これからの世界にどのような影響をもたらすのかを、静かに問いかけているように感じられます。
本展「Sustainable World」は、その問いに耳を澄ませるように、写真というメディアを通して世界を見つめ直す試みです。
長野県にゆかりのある写真家・佐藤大史とフォトグラファー・磯部昭子。ふたりは同じ世界を前にしながら、まったく異なる角度から未来の気配を受け取っています。
佐藤大史は、アラスカの大自然をありのままの姿で伝えるため、現地での撮影にこだわり続けます。磯部昭子は、人物や日常を被写体としながら、独自の感性でその奥底に眠る価値観を提示してくれます。その視点は異なりながらも、どちらも未来へ向けた静かな問いを抱えています。
本展では、幅広い表現領域で世界をけん引するセイコーエプソン株式会社のプロジェクターとデジタル捺染(なっせん)技術により、ふたりの視線を具現化します。環境への負荷を抑えた、より豊かな写真表現の可能性をご体感ください。

展覧会の最新情報や
電子チケットのご購入は、こちらから▶

佐藤大史
Sato Daishi(1985-)

長野県安曇野市在住。日本大学芸術学部写真学科卒。写真家白川義員氏に師事したあと、自然の美しさと厳しさを学ぶために北アルプス燕山荘で働いていた時に信州の自然に魅了され、2012年に安曇野市に移住。2013年の独立後は、「我々すべてが属している地球」を伝えることをテーマに、主にアラスカなどの手つかずの大自然を舞台に撮影し、世界規模で活動。2017年エプソンフォトグランプリ三好和義賞受賞。
ライフワークとして「生きること」と「暮らすこと」にフォーカスした写真活動を行う。





©Daishi Sato

磯部昭子
Isobe Akiko(1977-)

10代を松本で過ごす。武蔵野美術大学造形学部映像学科在学中より創作活動を始め、写真作品を多数発表。2000年にフィリップモリス・アートアワード入選、エプソンカラーイメージングコンテスト伊藤俊治審査委員賞を受賞。2001年に第18回写真「ひとつぼ展」に入選を果たし注目を集める。大学卒業後、フリーランスとして活動を開始。雑誌やCDジャケット、広告等を手がけてきた。
現在は東京を拠点に、アートディレクションやムービー撮影など多岐に渡り活躍。

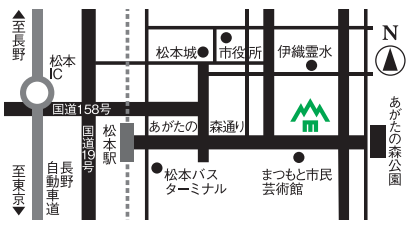
©AKIKO ISOBE

観覧料	一般		大学生 70歳以上の松本市民	
	電子チケット	窓口	電子チケット	窓口
当日券	1,400円	1,500円	900円	1,000円
前売券	1,300円		800円	

●高校生以下無料、障がい者手帳携帯者とその介助者1名無料 ●20名以上の団体は窓口料金から各200円引き(当日窓口販売のみ) ●大学生・70歳以上の松本市民は、観覧当日、証明書(免許証、学生証等)の呈示が必要 ●前売券の取扱いは9月18日(金)まで

プレイガイド／窓口販売:松本市美術館、電子チケット:松本市美術館公式HPから
●本展観覧券で3階コレクション展示室と記念展示室もご覧いただけます

松本市美術館
MATSUMOTO CITY MUSEUM OF ART
〒390-0811 松本市中央4-2-22
TEL.0263-39-7400
https://matsumoto-artmuse.jp



駐車場には限りがございますので、自家用車以外でのご来館にご協力をお願いします

■JR松本駅からぐるっとまつもとバス・横田信大循環線5分[松本市美術館]下車。またはタウンスニーカー(市内周遊バス)東コース7分[伊織霊水(美術館北)]下車、徒歩5分
■JR松本駅、松本バスターミナルから徒歩12分
■長野自動車道松本ICから車で15分